

**令和元年度第3回  
インターネット都政モニターアンケート**

**「長期戦略の策定に向けて」**

**調査結果**



## 調査実施の概要

- 1 アンケートテーマ**  
「長期戦略の策定に向けて」
- 2 アンケート目的**  
東京 2020 大会後の新たな羅針盤となる長期戦略の策定に当たり、「成長」と「成熟」が両立した東京の将来像を描く参考とするため、都民の意見を聞く。
- 3 アンケート期間**  
令和元年7月24日（水曜日）から7月30日（火曜日）まで
- 4 アンケート方法**  
インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。
- 5 インターネット都政モニター数**  
500 人
- 6 回答者数**  
487 人
- 7 回答率**  
97.4%

# 長期戦略の策定に向けて

## 1 調査項目

- Q1 次世代に残したい東京の良さ・魅力
- Q2 東京の「成長」した都市の姿
- Q3 東京の「成熟」した都市の姿
- Q4 少子化の背景
- Q5 子供を産み育てたいと思える社会
- Q6 高齢者が地域で安心して暮らせる社会
- Q7 高齢者がいきいきと活躍する社会
- Q8 新しいモノ・サービスの利用経験
- Q9 技術革新による生活の変化
- Q10 誰もが快適に過ごすことのできるまち
- Q11 安全・安心な都市
- Q12 共感できる SDGs の目標（ゴール）
- Q13 都が力を入れるべき「共存共栄」の取組
- Q14 次世代に残すレガシー
- Q15 東京の将来の姿について（自由意見）

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	487	-	97.4
性別	男 性	250	243	49.9	97.2
	女 性	250	244	50.1	97.6
年代別	18・19歳	11	10	4.1	90.9
	20代	60	58	11.9	96.7
	30代	85	83	17.0	97.6
	40代	104	103	21.1	99.0
	50代	77	73	15.0	94.8
	60代	81	80	16.4	98.8
	70歳以上	82	80	16.4	97.6
職業別	自営業	46	44	9.0	95.7
	常 勤	191	186	38.2	97.4
	パート・アルバイト	58	57	11.7	98.3
	主 婦	98	96	19.7	98.0
	学 生	30	29	6.0	96.7
	無 職	77	75	15.4	97.4
居住地域別	東京都区部	343	333	68.4	97.1
	東京都市町村部	157	154	31.6	98.1

※ 集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA) =いくつでも選択、(3MA) =3つまで選択、(2MA) =2つまで選択

都は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」といいます。）後の新たな羅針盤となる長期戦略の策定を進めています。

東京が首都として、日本の発展を牽引していくためには、これまで取り組んできた政策のバージョンアップや都民ニーズに応じた新たな取組を積極的に展開し、国際的な都市間競争を勝ち抜き「成長」を続ける都市を実現しなければなりません。

また、本年のラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 大会を通じて生み出される、ハード・ソフト両面のレガシー（※）を更に発展させることで都民が安心して豊かに暮らせる「成熟」した都市としていく必要があります。

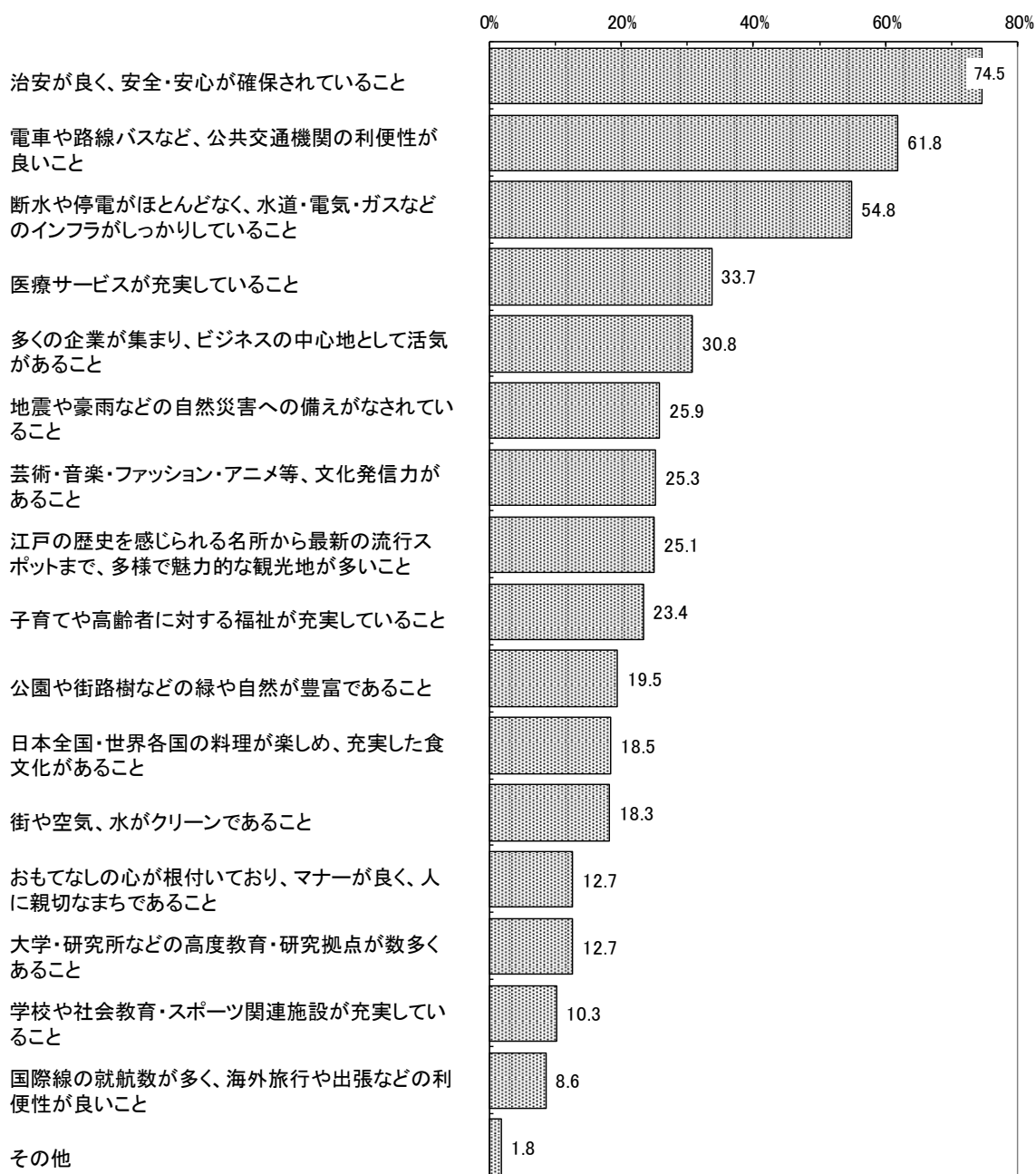
「成長」と「成熟」が両立した東京の将来像を描く参考にさせていただくため、都政モニターのみなさまのご意見をお聞きします。

※ レガシー：開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のこと

## 次世代に残したい東京の良さ・魅力

Q1 あなたが次世代に残したいと考える、東京の良さ・魅力は何ですか。次の中から5つまで選んでください。

5MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

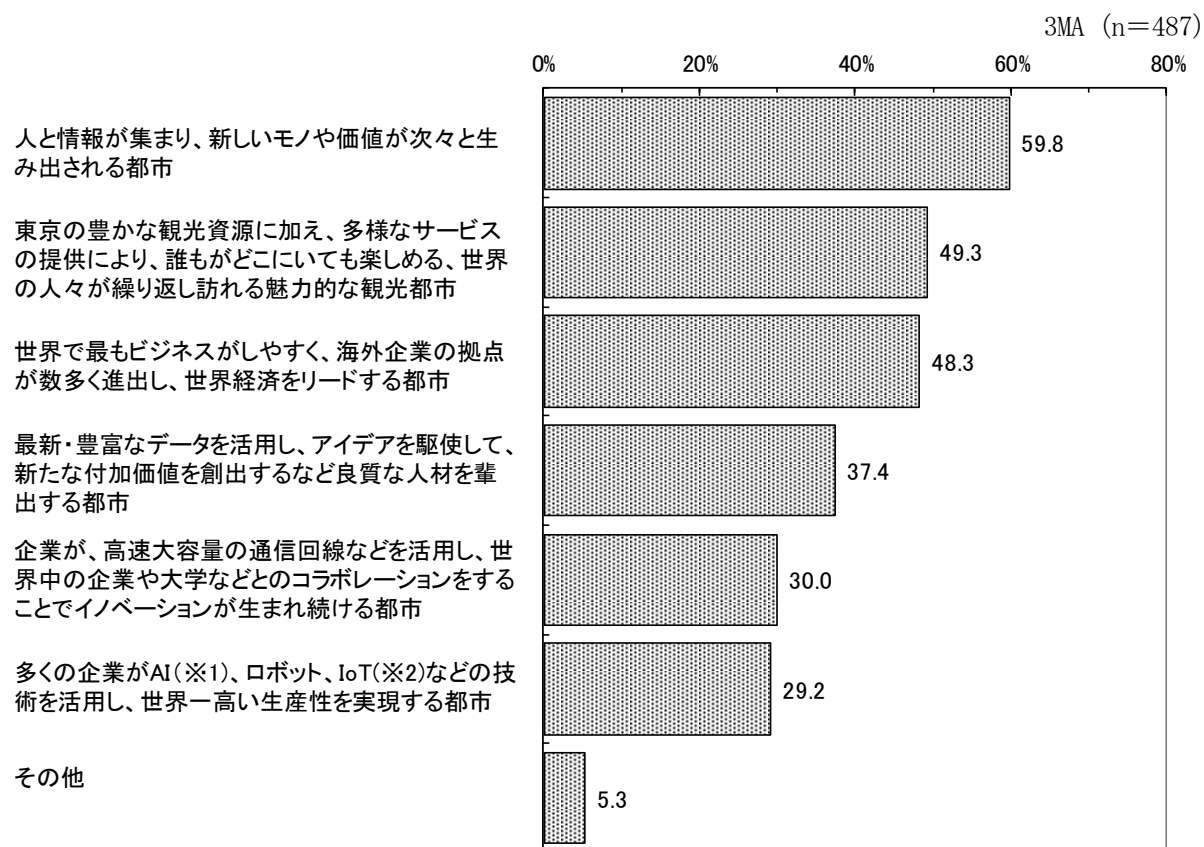
次世代に残したい東京の良さ・魅力について聞いたところ、「治安が良く、安全・安心が確保されていること」(74.5%)が7割半ばで最も高く、以下、「電車や路線バスなど、公共交通機関の利便性が良いこと」(61.8%)、「断水や停電がほとんどなく、水道・電気・ガスなどのインフラがしっかりしていること」(54.8%)などと続いている。

### ◎ その他の主な意見

- ・ 多様な人間が生活していること。

## 東京の「成長」した都市の姿

Q2 東京が首都として、日本の発展を牽引していくためには、国際的な都市間競争を勝ち抜き、「成長」し続ける都市の実現が必要です。東京の「成長」した都市の姿として、あなたのイメージに近いものはどれですか。次の中から3つまで選んでください。



※1 AI：人間の脳が行っている知的な作業をコンピュータで模倣したソフトウェアやシステム。具体的には、人間の使う自然言語を理解したり、論理的な推論を行ったり、経験から学習したりするコンピュータプログラムなどのことをいう

※2 IoT：モノのインターネット（Internet of Things）の略称。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信することにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと

### 【調査結果の概要】

東京の「成長」した都市の姿のイメージについて聞いたところ、「人と情報が集まり、新しいモノや価値が次々と生み出される都市」（59.8%）が6割近くで最も高く、以下、「東京の豊かな観光資源に加え、多様なサービスの提供により、誰もがどこにいても楽しめる、世界の人々が繰り返し訪れる魅力的な観光都市」（49.3%）、「世界で最もビジネスがしやすく、海外企業の拠点が数多く進出し、世界経済をリードする都市」（48.3%）などと続いている。

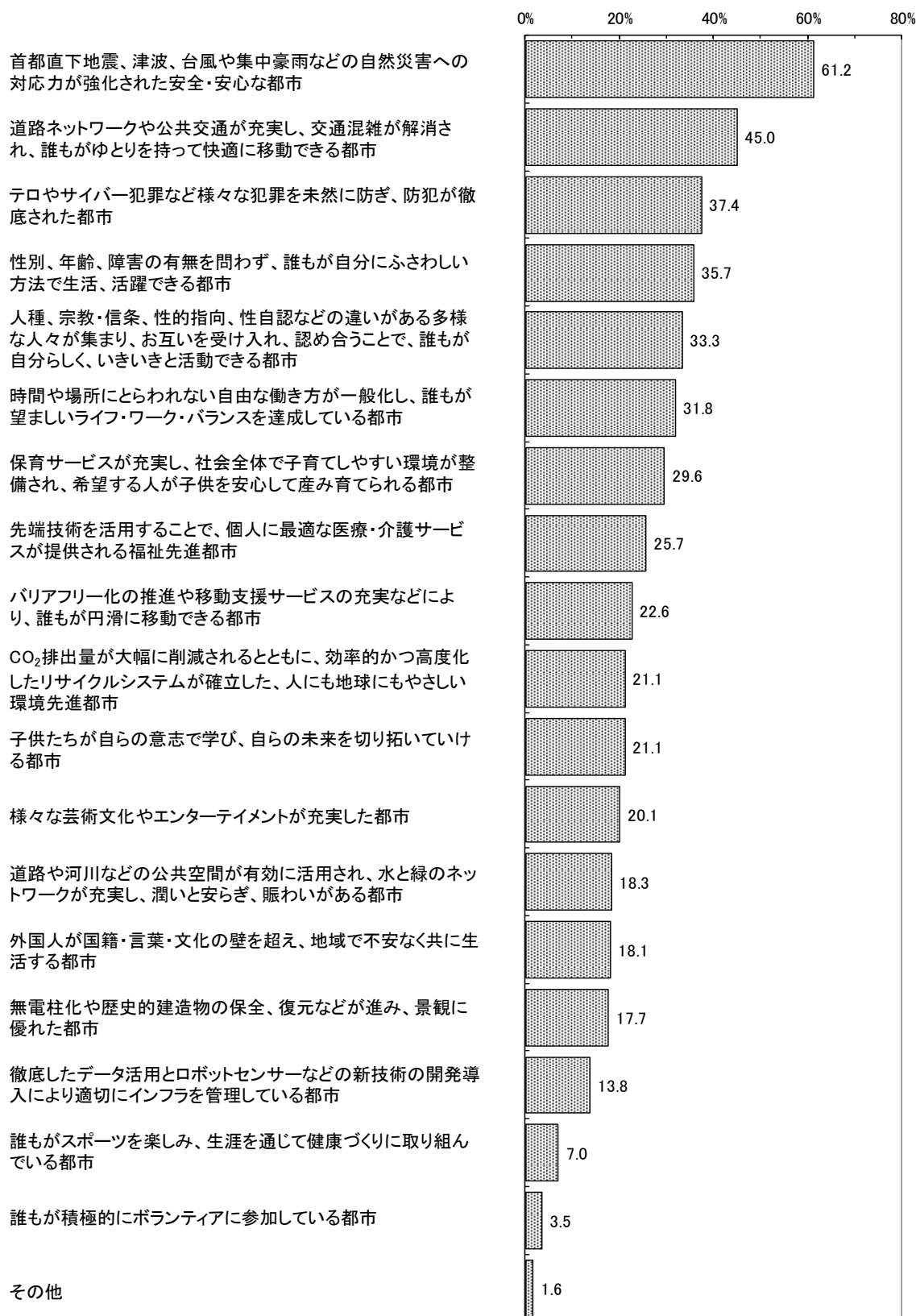
### ◎ その他の主な意見

- ・ IT技術等を駆使し、日本各地との強い連携機能を備えた日本の中心的な役割となる都市
- ・ 国の首都としての中心的役割を果たし、周辺地方へ波状的に好影響する計画都市
- ・ 多様な人材が偏見を受けずに自己の才能を遺憾なく発揮できる自由な都市

## 東京の「成熟」した都市の姿

Q3 誰もが安心して豊かに暮らせる社会を実現するためには、東京を「成熟」した都市としていく必要があります。東京の「成熟」した都市の姿として、あなたのイメージに近いものはどれですか。次の中から5つまで選んでください。

5MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

東京の「成熟」した都市の姿のイメージについて聞いたところ、「首都直下地震、津波、台風や集中豪雨などの自然災害への対応力が強化された安全・安心な都市」(61.2%)が約6割で最も高く、以下、「道路ネットワークや公共交通が充実し、交通混雑が解消され、誰もがゆとりを持って快適に移動できる都市」(45.0%)、「テロやサイバー犯罪など様々な犯罪を未然に防ぎ、防犯が徹底された都市」(37.4%)などと続いている。

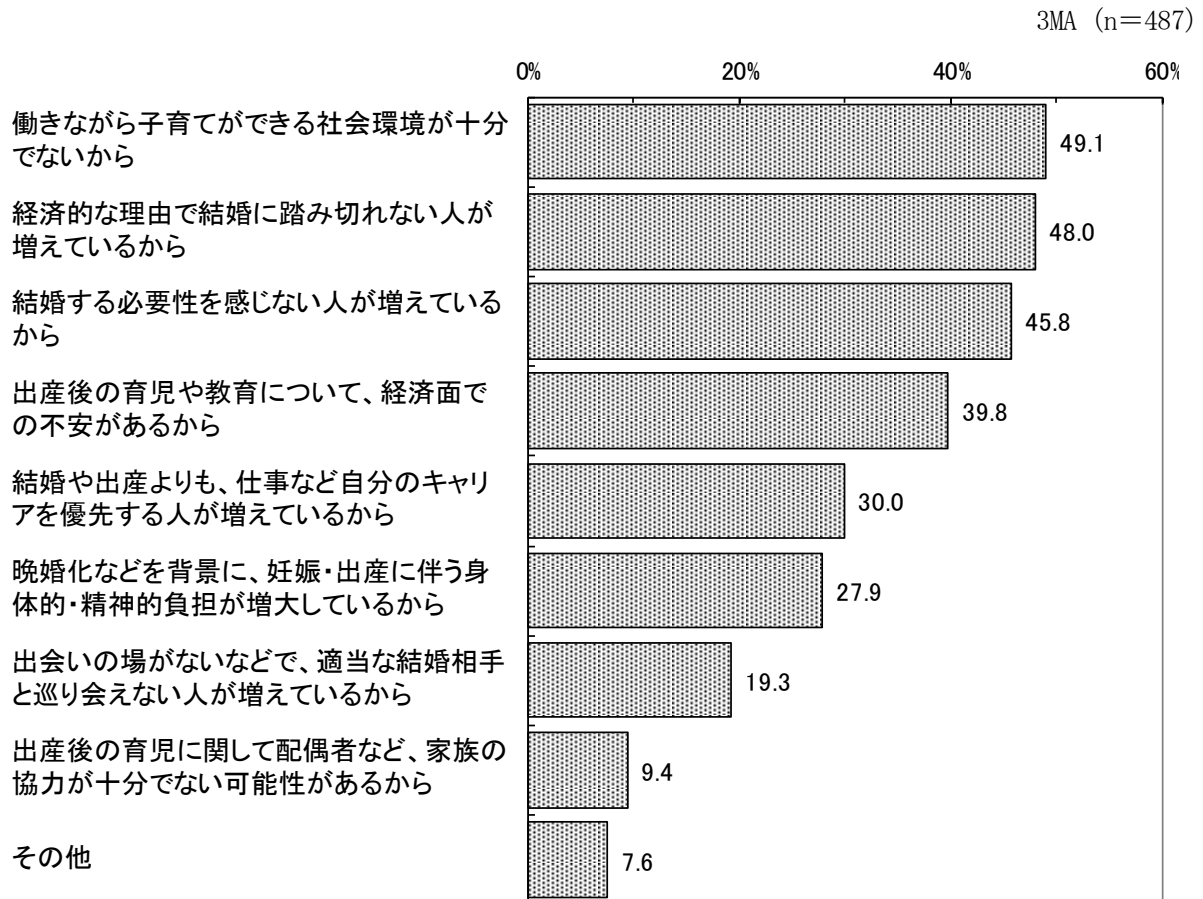


## 少子高齢化

東京都では、2025年以降人口が減少し、少子高齢化が更に進行することが見込まれており、生産年齢人口の減少、単独世帯や高齢世帯の増加などが懸念されています。

## 少子化の背景

Q4 少子化に歯止めがかからない背景は何だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。



### 【調査結果の概要】

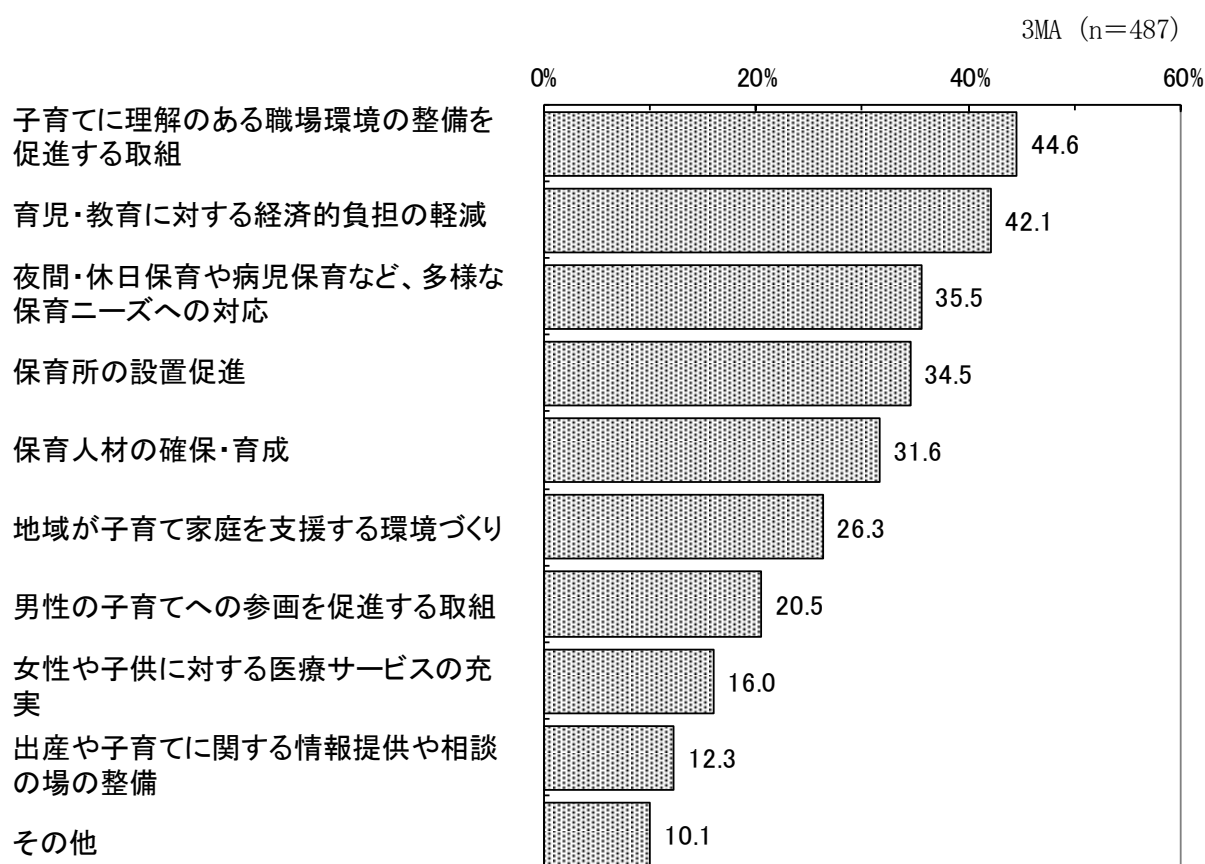
少子化の背景について聞いたところ、「働きながら子育てができる社会環境が十分でないから」(49.1%)が最も高く、以下、「経済的な理由で結婚に踏み切れない人が増えているから」(48.0%)、「結婚する必要性を感じない人が増えているから」(45.8%)などと続いている。

### ◎ その他の主な意見

- ・ 「経済的な理由で結婚に踏み切れない」というよりも、経済的なことも含め生活全般(時間的、精神的等々)に余裕がなく、(漠然と結婚を考えることはあっても、日々の生活を送るのに汲々としていて)成り行きとして晩婚化という結果になっているのではないのでしょうか。
- ・ 人の生きる選択幅が増えて、様々な価値観が生まれているから。

## 子供を産み育てたいと思える社会

Q5 子供を産み育てたいと思える社会にするために、都は何をするべきだと思いますか。  
次の中から3つまで選んでください。



### 【調査結果の概要】

子供を産み育てたいと思える社会にするために、都は何をするべきかについて聞いたところ、「子育てに理解のある職場環境の整備を促進する取組」(44.6%)が最も高く、以下、「育児・教育に対する経済的負担の軽減」(42.1%)、「夜間・休日保育や病児保育など、多様な保育ニーズへの対応」(35.5%)などと続いている。

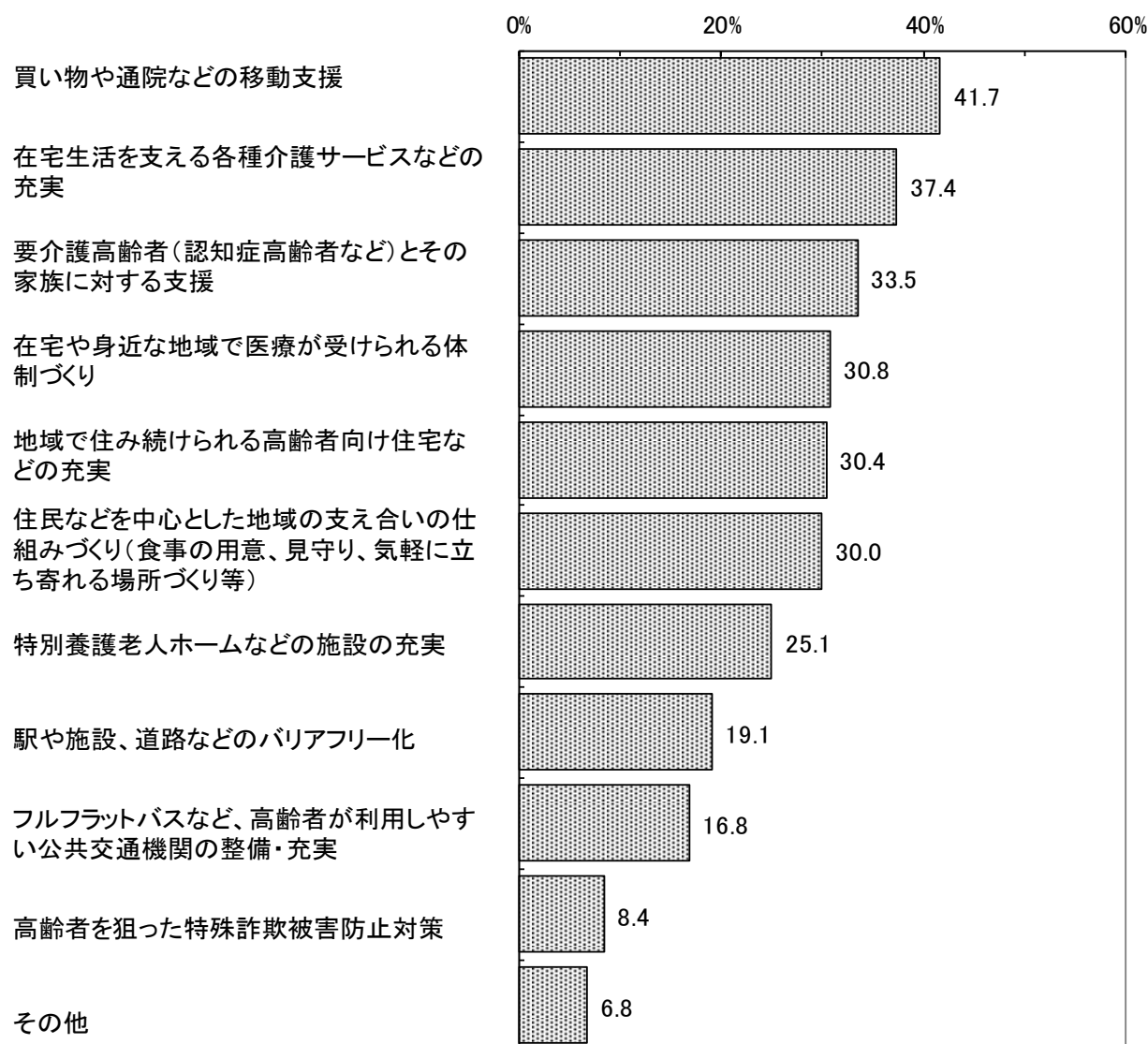
### ◎ その他の主な意見

- ・ 人が子供を産み育てることの素晴らしさを知ってもらうこと。
- ・ 保育士の地位、賃金が引き上げられるような取組

## 高齢者が地域で安心して暮らせる社会

Q6 更なる高齢社会に向けて、高齢者が地域で安心して暮らすために必要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

高齢者が地域で安心して暮らすために必要だと思うことについて聞いたところ、「買い物や通院などの移動支援」(41.7%)が約4割で最も高く、以下、「在宅生活を支える各種介護サービスなどの充実」(37.4%)、「要介護高齢者(認知症高齢者など)とその家族に対する支援」(33.5%)などと続いている。

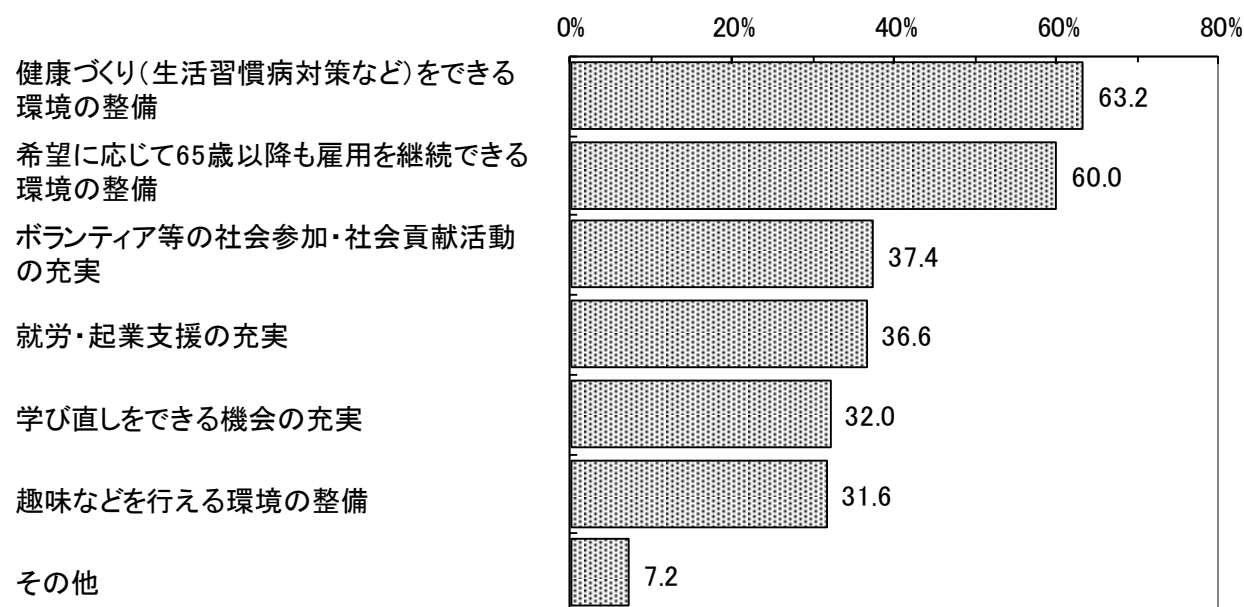
### ◎ その他の主な意見

- ・ 運転免許を自主返納した高齢者にタクシーやバスの割引券給付など
- ・ 高齢者が長く健康で生き続けられるような機会づくり(公共プールやジムなどの運動環境の無償提供、健康増進のためのイベント開催や情報提供など)
- ・ 働ける高齢者に向けての就業支援
- ・ 年齢、健康状態に応じて、その都度、在宅にこだわらず、住替えができ、その時に必要なサービスを受けられる。

## 高齢者がいきいきと活躍する社会

Q7 人生100年時代において、高齢者が自分らしくいきいきと活躍するために、重要だと思うことは何ですか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

高齢者がいきいきと活躍するために重要だと思うことについて聞いたところ、「健康づくり（生活習慣病対策など）をできる環境の整備」（63.2%）が最も高く、以下、「希望に応じて65歳以降も雇用を継続できる環境の整備」（60.0%）、「ボランティア等の社会参加・社会貢献活動の充実」（37.4%）、「就労・起業支援の充実」（36.6%）などと続いている。

### ◎ その他の主な意見

- ・ 経済的支援体制の充実
- ・ 社会貢献や健康増進（常に体調が確認できるような機能提供）など、長く健康で生きることが得に感じられるサービスや環境づくり

## 先端技術

IoT やビッグデータ、AI といった先端技術の発達により、産業のあり方や私たちの生活も大きく変換しつつあります。国は、これらの技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな未来社会「Society 5.0」(※)を提唱し、この実現を目指しています。

※ 「Society 5.0」：サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

<参考>

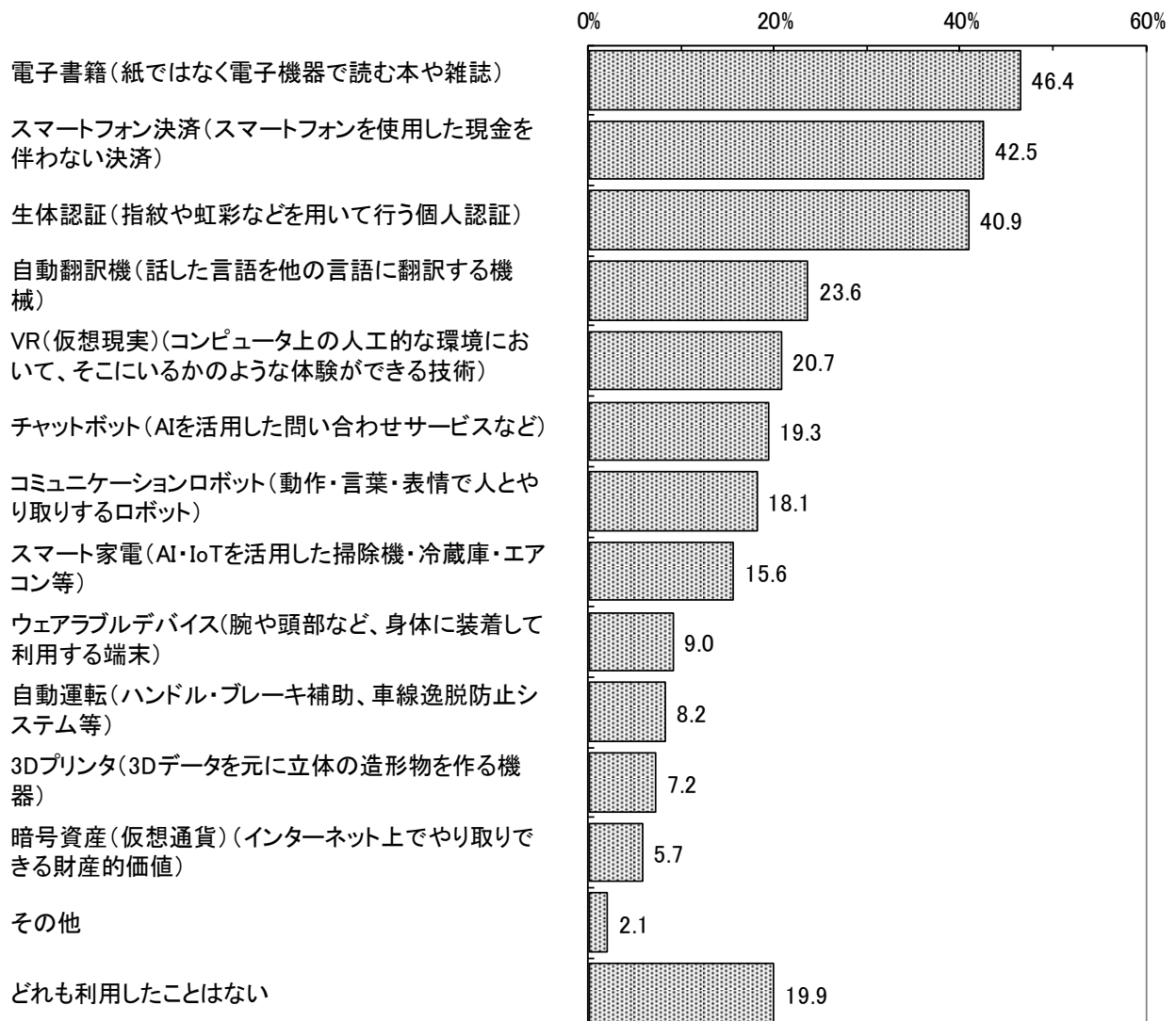
内閣府 [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/index.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/index.html)

政府広報オンライン <https://www.gov-online.go.jp/cam/s5/>

## 新しいモノ・サービスの利用経験

Q8 現在、様々な分野で技術革新が起こっていますが、以下のモノやサービスであなたが利用したことがあるものは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

新しいモノ・サービスの利用経験について聞いたところ、「電子書籍（紙ではなく電子機器で読む本や雑誌）」（46.4%）が最も高く、以下、「スマートフォン決済（スマートフォンを使用した現金を伴わない決済）」（42.5%）、「生体認証（指紋や虹彩などを用いて行う個人認証）」（40.9%）などと続いている。

また、「どれも利用したことはない」（19.9%）は、約2割であった。

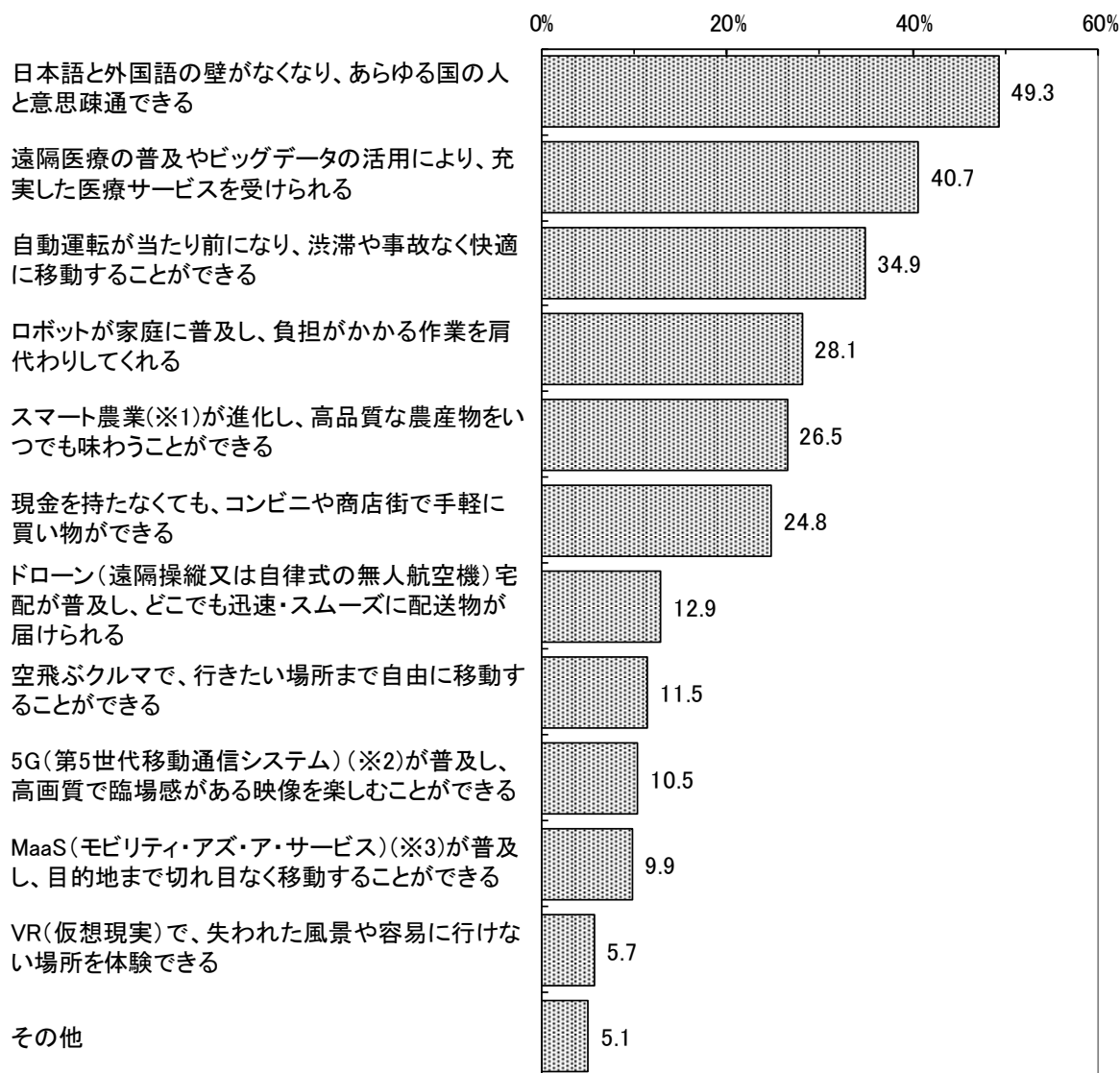
### ◎ その他の主な意見

- ・ 会社のテレワーク環境

## 技術革新による生活の変化

Q9 技術革新によって、あなたの生活がどう変われば良いと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)



※1 スマート農業：ロボット技術や ICT を活用して超省力・高品質生産を実現する新たな農業

※2 5G (第5世代移動通信システム)：「高速・大容量」「低遅延」「多数端末接続」が特徴の最新通信システム

※3 MaaS (Mobility as a Service の略)：出発地から目的地までの移動ニーズに対して、最適な移動手段を切れ目なく一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

<参考>国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/common/001257136.pdf>

### 【調査結果の概要】

技術革新によって、生活がどう変われば良いと思うかについて聞いたところ、「日本語と外国語の壁がなくなり、あらゆる国の人と意思疎通できる」(49.3%)が5割近くで最も高く、以下、「遠隔医療の普及やビッグデータの活用により、充実した医療サービスを受けられる」(40.7%)、「自動運転が当たり前になり、渋滞や事故なく快適に移動することができる」(34.9%)などと続いている。

#### ◎ その他の主な意見

- ・ AI見守りサービス。一人暮らしや老老介護の老人の安否健康確認を遠隔集中して行い、必要に応じて関連先手配、派遣をしてくれるもの。
- ・ クレジットカードと電子マネーの普及で、ポイントがつく社会。現金不要の社会。いちいち区役所本庁舎や、都庁本庁舎、警視庁の免許センターなどに行かなくても、インターネットですべての行政手続きが完結する社会
- ・ 自動車や電車の制御を効率化して、渋滞や混雑を緩和する。



## 環境

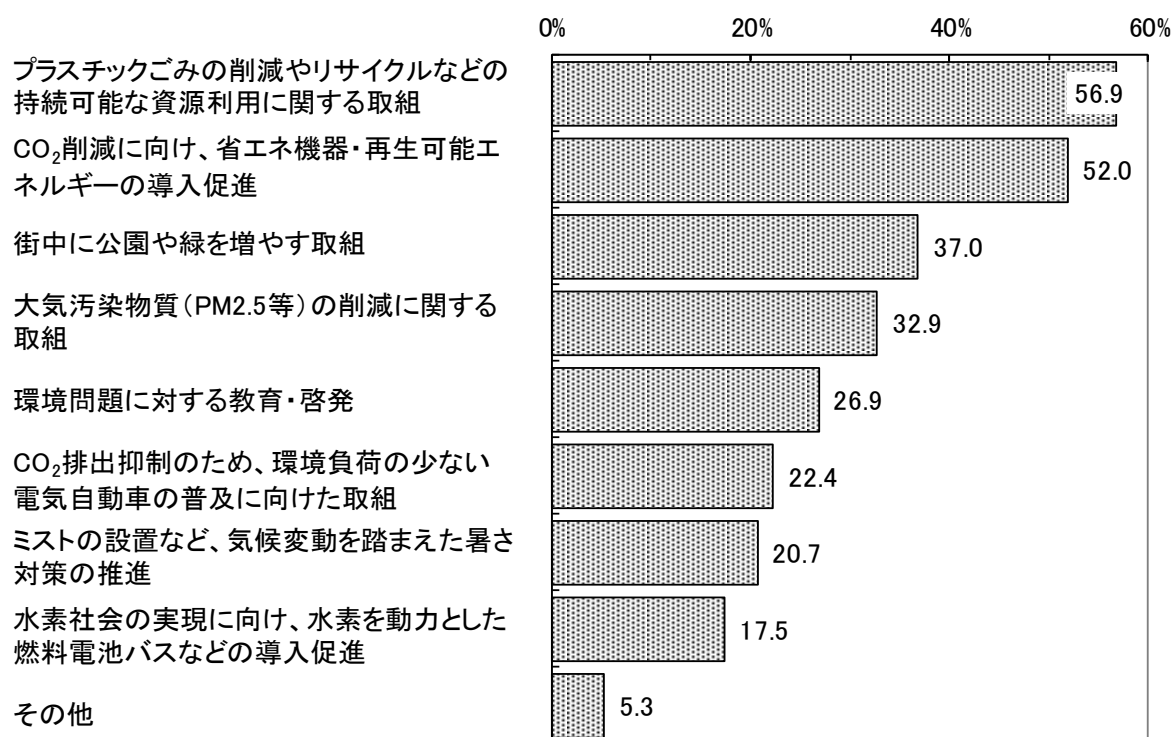
温暖化に伴う異常気象を始め、大気・水・緑などの都市環境、廃棄物の問題など、都を含む世界各国の都市は、環境面で様々な課題に直面しています。

人口や産業が集中している東京は、日本の首都として、また、世界をリードする都市として、率先して持続可能な都市の実現に向けた取組を進める必要があります。

## 誰もが快適に過ごすことのできるまち

Q10 将来にわたって、誰もが快適に過ごすことのできるまちをつくるために、都が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

誰もが快適に過ごすことのできるまちをつくるために、都が優先して取り組むべきことについて聞いたところ、「プラスチックごみの削減やリサイクルなどの持続可能な資源利用に関する取組」(56.9%)が6割近くで最も高く、以下、「CO<sub>2</sub>削減に向け、省エネ機器・再生可能エネルギーの導入促進」(52.0%)、「街中に公園や緑を増やす取組」(37.0%)などと続いている。

### ◎ その他の主な意見

- ・ エネルギーの地産地消(都下の下水処理場でのヒートポンプ発電、メタンガス発電など)の推進
- ・ プラスチックごみの資源化

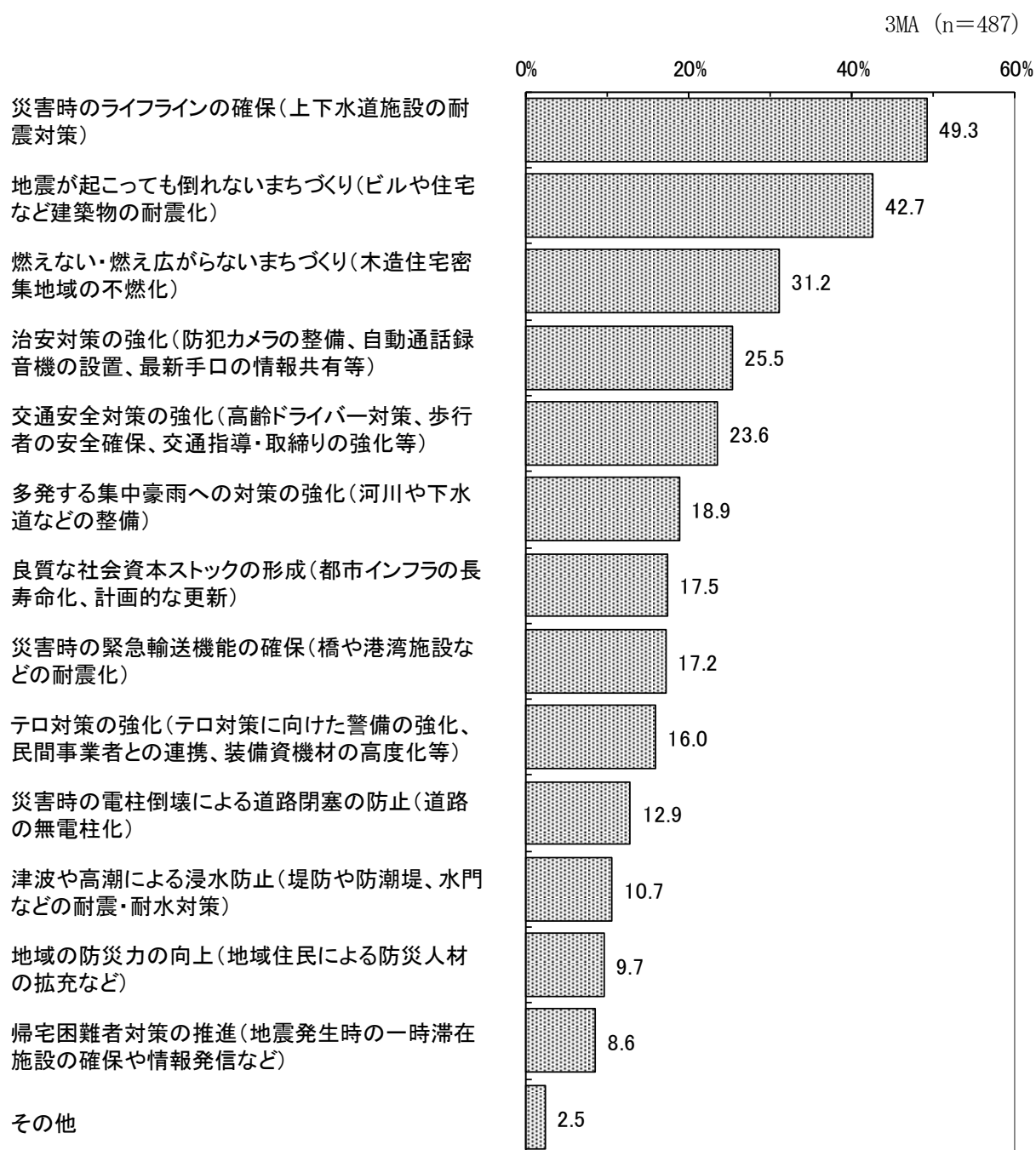
## 安全・安心

近い将来、首都直下地震などの大規模地震が発生することが予想されています。近年の異常気象により猛暑や豪雨被害が多発・激甚化するなど、自然災害のリスクが高まっています。

さらに、自然災害のみならず、犯罪や事故など、都民の生命・財産を脅かす危険が日常的に潜んでおり、あらゆる面で都民の安全・安心を確保する必要があります。

## 安全・安心な都市

Q11 将来にわたって安全・安心な都市としていくために、都が優先して取り組むべきことは何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。



### 【調査結果の概要】

安全・安心な都市としていくために、都が優先して取り組むべきことについて聞いたところ、「災害時のライフラインの確保（上下水道施設の耐震対策）」（49.3%）が最も高く、以下、「地震が起こっても倒れないまちづくり（ビルや住宅など建築物の耐震化）」（42.7%）、「燃えない・燃え広がらないまちづくり（木造住宅密集地域の不燃化）」（31.2%）などと続いている。

## SDGs (Sustainable Development Goals の略：持続可能な開発目標)

SDGs は 2030 年までに持続可能な世界を実現するために国連によって定められた開発目標で、飢餓の根絶や気候変動への対応などの 17 の目標 (ゴール) から構成されています。2015 年 9 月に国連サミットで採択された先進国を含む全ての国々の共通目標です。

SDGs 達成のためには、「誰一人取り残さない」包摂的な社会を作っていくことが重要であると強調されており、国家レベルだけではなく自治体レベルでの取組が期待されています。

## 共感できる SDGs の目標 (ゴール)

Q12 福祉、まちづくり、雇用…などあらゆる分野において進めている都の様々な施策の推進は、SDGs の 17 の目標 (ゴール) 達成にも繋がっていきます。







あなたは、以下の目標 (ゴール) のうち、特に共感できるものはどれですか。次の中から 5 つまで選んでください。

5MA (n=487)

### <参考>

政策企画局計画部ホームページ (「実行プランに掲げる政策と SDGs との関係」)

[https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.jp/basic-plan/actionplan-for-2020/action/pdf/08-4\\_sdgs.pdf](https://www.seisakukikaku.metro.tokyo.jp/basic-plan/actionplan-for-2020/action/pdf/08-4_sdgs.pdf)

-  1 貧困をなくそう (あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる)
-  2 飢餓をゼロに (飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する)
-  3 すべての人に健康と福祉を (あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する)
-  4 質の高い教育をみんなに (全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する)
-  5 ジェンダー平等を実現しよう (ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女子の能力強化を行う)
-  6 安全な水とトイレを世界中に (全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する)
-  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに (全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する)
-  8 働きがいも経済成長も (包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用 (ディーセント・ワーク) を促進する)

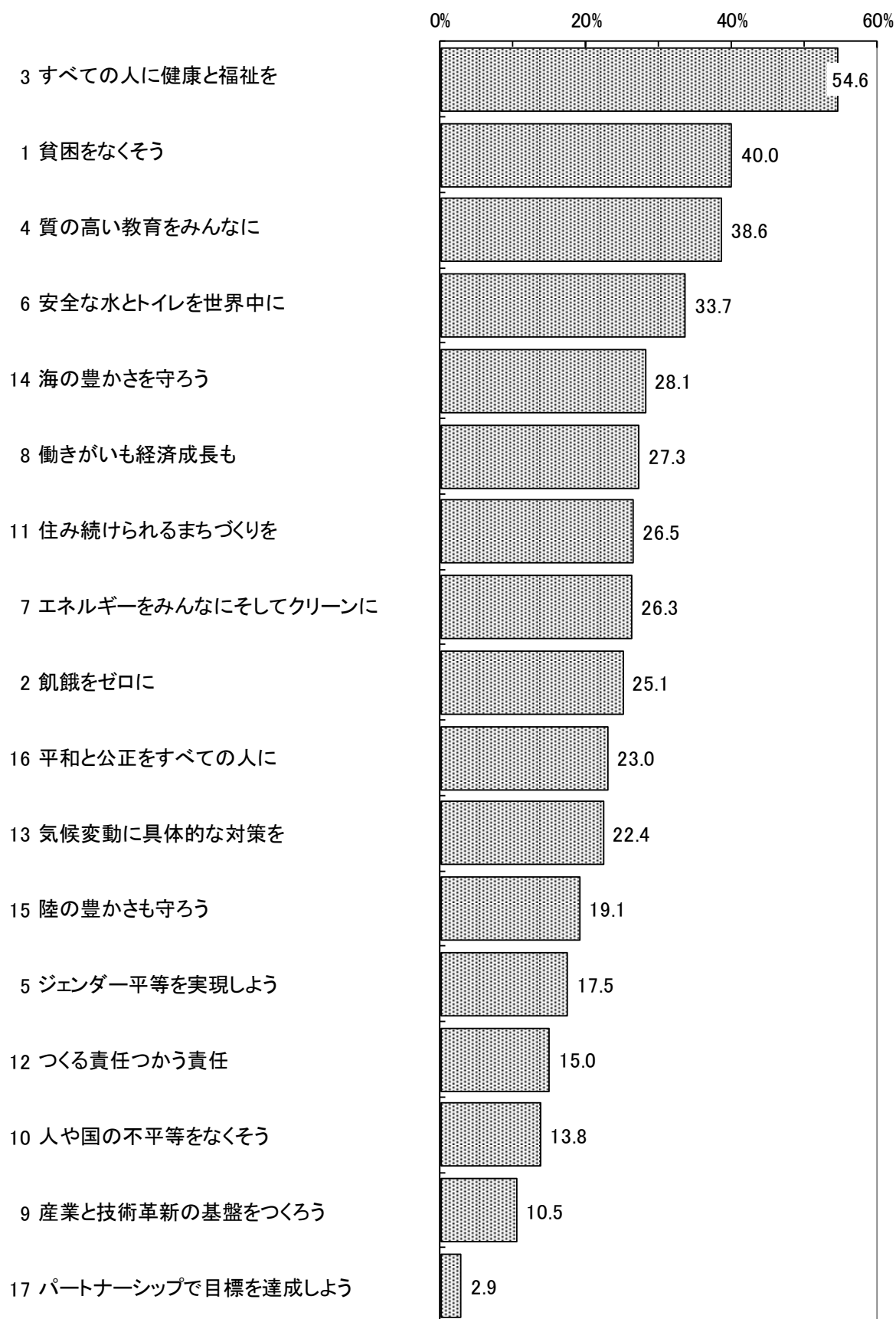
- 9  産業と技術革新の基盤をつくろう（強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る）
- 10  人や国の不平等をなくそう（各国内及び各国間の不平等を是正する）
- 11  住み続けられるまちづくりを（包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する）
- 12  つくる責任つかう責任（持続可能な生産消費形態を確保する）
- 13  気候変動に具体的な対策を（気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる）
- 14  海の豊かさを守ろう（持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する）
- 15  陸の豊かさも守ろう（陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する）
- 16  平和と公正をすべての人に（持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する）
- 17  パートナーシップで目標を達成しよう（持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する）

### 【調査結果の概要】

共感できる SDGs の目標（ゴール）（次頁）について聞いたところ、「すべての人に健康と福祉を（あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する）」

（54.6%）が5割半ばで最も高く、以下、「貧困をなくそう（あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる）」（40.0%）、「質の高い教育をみんなに（全ての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する）」（38.6%）などと続いている。

◎共感できる SDGs の目標（ゴール）



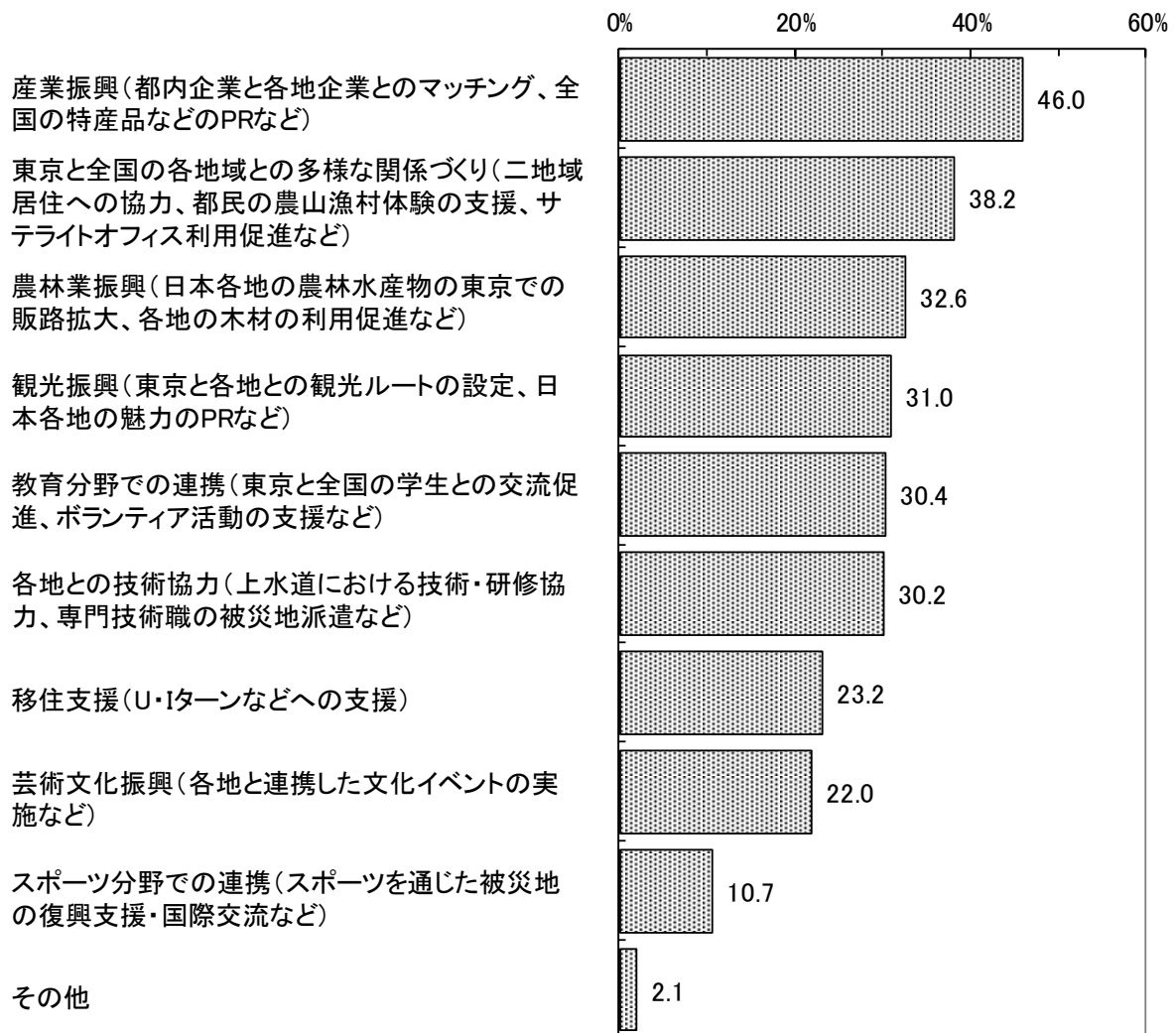
## 全国との「共存共栄」

都は、東京と全国各地が連携し、それぞれの持つ魅力を高めることで、共に栄え、成長することを目指し、様々な取組を進めています。

### 都が力を入れるべき「共存共栄」の取組

Q13 今後、更に全国との「共存共栄」を効果の高いものにしていくために、都が優先して行うことはどのような取組だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=487)



#### 【調査結果の概要】

都が力を入れるべき全国との「共存共栄」の取組について聞いたところ、「産業振興(都内企業と各地企業とのマッチング、全国の特産品などのPRなど)」(46.0%)が5割近くで最も高く、以下、「東京と全国の各地域との多様な関係づくり(二地域居住への協力、都民の農山漁村体験の支援、サテライトオフィス利用促進など)」(38.2%)、「農林業振興(日本各地の農林水産物の東京での販路拡大、各地の木材の利用促進など)」(32.6%)などと続いている。

## 東京 2020 大会等のレガシー

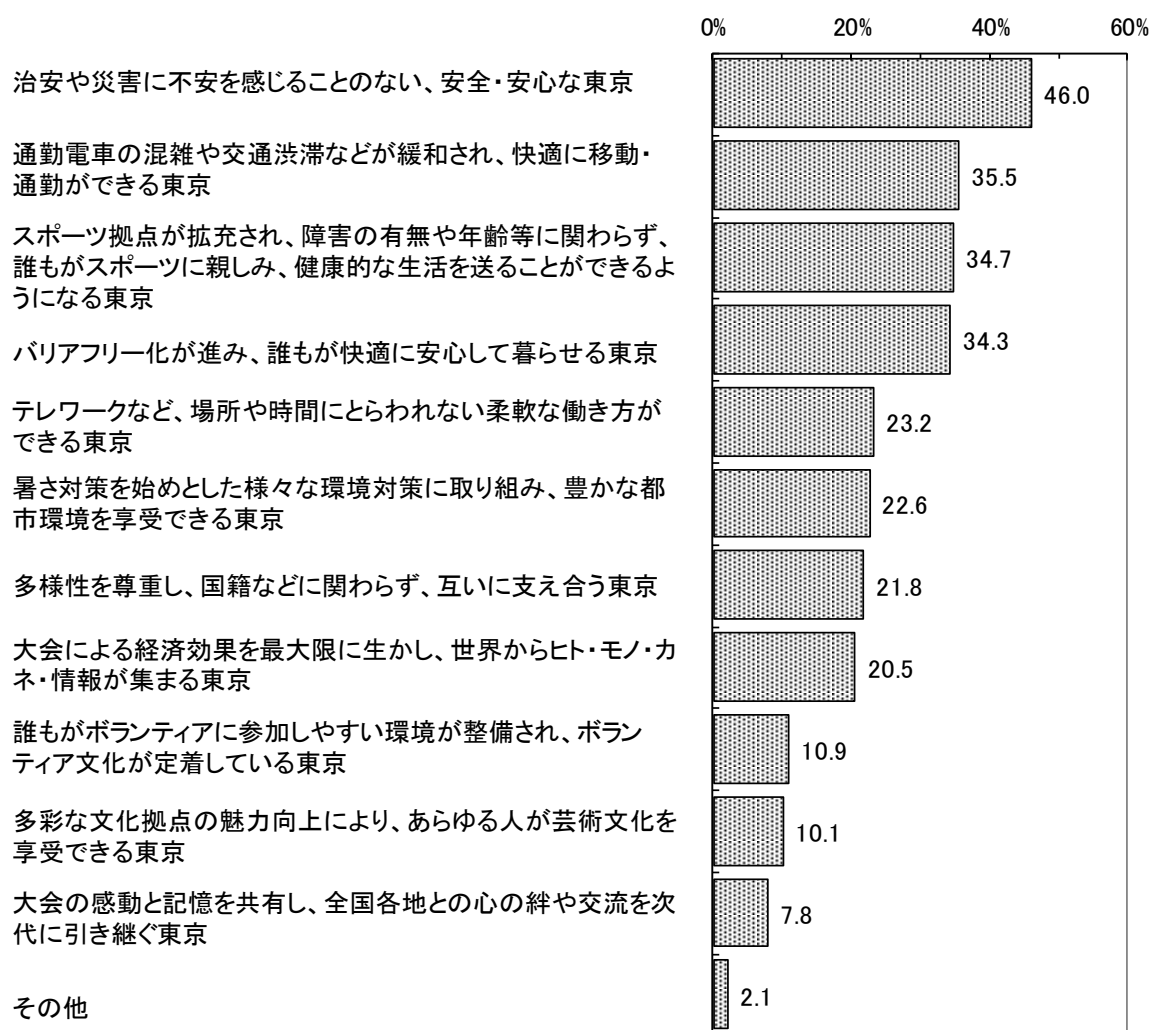
今年のラグビーワールドカップ 2019™、来年の東京 2020 大会の開催を通じて生み出されるハード・ソフト両面のレガシー(※)は、その先の東京の発展に繋がっていくことが期待されています。

※ レガシー：開催都市や開催国が、長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的恩恵のこと

## 次世代に残すレガシー

Q14 あなたが期待する、次世代に残す東京 2020 大会とラグビーワールドカップ 2019™ のレガシーは何ですか。次の中から 3 つまで選んでください。

3MA (n=487)



### 【調査結果の概要】

次世代に残す東京 2020 大会とラグビーワールドカップ 2019™ のレガシーについて聞いたところ、「治安や災害に不安を感じる事のない、安全・安心な東京」(46.0%) が 5 割近くで最も高く、以下、「通勤電車の混雑や交通渋滞などが緩和され、快適に移動・通勤ができる東京」(35.5%)、「スポーツ拠点が拡充され、障害の有無や年齢等に関わらず、誰もがスポーツに親しみ、健康的な生活を送ることができるようになる東京」(34.7%) などと続いている。



## 東京の将来の姿について（自由意見）

Q15 東京の将来の姿や必要な取組などについて、あなたのご意見を自由にお書きください。

(n=410)

(1) 都の将来像、施策全般に関すること	150 件
(2) 少子高齢化、教育、就労対策に関すること	66 件
(3) 安全・安心な都市、治安対策に関すること	36 件
(4) 一極集中、地方・地域との連携に関すること	36 件
(5) 社会の多様化等に関すること	33 件
(6) 街づくり、交通対策等に関すること	31 件
(7) 環境、地球温暖化対策に関すること	29 件
(8) 先進的都市、国際化、経済発展等に関すること	16 件
(9) その他	13 件

(主なご意見)

### (1) 都の将来像、施策全般に関すること 150 件

- 一言で東京と言っても、新宿のような大都心もあれば、浅草のような昔ながらの街並みを残した町もあり、一方スカイツリーのような現代を想起させる新しいシンボルを持つ町もあります。私の住む足立区は住宅地が多く、公園や図書館の数も多く、住みやすい環境です。それぞれの良さを残しつつ、これからの新しい取組がなされるといいと思います。  
(女性 20代 足立区)
- 企業が事業活動をしやすい環境であるとともに、住む人も働きやすく、私生活を快適に過ごせる場所であってほしい。産業が空洞化することなく、ビジネスの中心的存在は維持してほしい。そうすることで住みやすさや暮らしやすさも向上し、相乗効果でよりよい東京の姿ができあがっていくと考えます。  
(男性 20代 八王子市)
- 治安、景観、環境の改善を進め、「文化都市」としての魅力を高めるような取組を期待しています。また、通勤時間帯の電車の混雑緩和は、都市の魅力を高めることにつながると考えますが、まずは旧来の働き方を改めていくことが必要と感じますので、そのような取組を公的機関から発信されることも期待しています。  
(男性 30代 葛飾区)
- 技術の発展はもちろんだが、それだけではなく、人と人とのつながりも発展していく「ゆとりある東京」になってほしい。  
(女性 30代 大田区)
- 今回のアンケート調査で、東京の将来が様々な角度から動かされていることを知って、私自身大いに興味と期待を持つことができました。このような情報を多くの人と共有できる場があれば、もっと素敵な東京を実際にイメージすることが可能かと思います。  
(女性 40代 目黒区)
- 治安が良く緑が豊かな東京をより推進させてほしい。  
(男性 40代 国分寺市)

○ 東京 2020 大会に向けて、駅のバリアフリー化、多言語化などが着実に進められていることはとてもよいことと思っている。私自身海外に行くことが多いが、現地語だけではなく、英語が書かれているとようやく意味が分かって、とてもありがたく思うことが多い。日本も最近でこそ多言語化が進んできてはいるが、緊急のとき、非常のときの対応など様々なところでそういった対応が徹底されるとよいと思う。今回のアンケートにも出てきたが、道路の電柱は非常の際の交通の妨げになる可能性もあると思うので、地中化を進めていただき、何かあったときに、救命するための作業がスムーズに進むようになるというのと思う。また、東京に住む人、勤めている人、皆がしっかりした情報を確保でき、自分自身で正確な情報を基に行動でき、お互いが助け合うことができるような環境が整うとよいと思う。  
(女性 50代 港区)

○ 東京で安心して暮らせるよう、医療や公共交通が充実した都政を希望します。経済や観光よりも、東京に住んでいる人が、日々の日常生活にプラスになることに予算を投じてほしいです。住みよいことが一番です。  
(女性 60代 江東区)

○ 東京は、日本の首都であるとともに、世界と密接にコネクトする大都市であることから、都民のみならず、国内外の人々の経済活動や文化活動、様々なジャンルにおける交流、さらには、観光の受け皿などとしての役割を担っていくための機能も欠かせません。また、東京の持つ豊かな自然や受け継がれてきた歴史的資産の保存に加え、将来に向けた新しい価値の創造や発信も忘れてはならない重要な要素だと思います。こうしたことを踏まえ、美しく調和のとれた街並みや安全に安心して暮らすことの出来る生活空間を、躍動する都市機能として一体的に創造し、将来へ向けてしっかりと維持していくことが大切だと思います。そのためには、行政が縦割りの思考から脱却して、全部門が一体となって取り組むとともに、都民一人ひとりの知恵や工夫を上手に活かしていくことが不可欠だと思います。  
(男性 60代 練馬区)

○ やはり都市の将来像は東京がリーダーシップを持つべきと思います。そのために環境・治安・医療・教育などにつき積極的に取り組み、他府県に対して参考となる施策を打ち出すべきだと思います。  
(男性 70歳以上 三鷹市)

○ 狭い国の日本の中の東京で、緑豊かな環境あふれる中に、先進国の良さをあらゆる面で持っている。マナーも含めて。これを失わないでほしい。(女性 70歳以上 東久留米市)

## (2) 少子高齢化、教育、就労対策に関すること 66件

○ 今の経済状況では、結婚や育児等の経済負担が大きいライフスタイルへ踏み出すことができない。お金があれば結婚や育児をしたいという声を周りからも聞くので、援助金を交付するなどの経済的負担の軽減が少子化対策につながると考える。  
(女性 10代 武蔵村山市)

○ 色々な事やモノの最先端で魅力ある街であり続けるには、人口減少、少子化への取組は重要だと思います。安心して子どもが産める環境づくり、職場の理解、また男性ももっと育児へ時間を割くべきだと思います。環境や仕組みだけでなく、考え方や意識の持ち方を変えていくべきだと思います。  
(女性 30代 杉並区)

- 日本の最先端に行く中心都市として、加速する高齢化社会へ対応すべく、全国の模範となるような、高齢者が安心して暮らせる仕組みの整備が、不可欠だと思います。  
(男性 40代 豊島区)
- 都市の活力を維持しながら、高齢化に備えることが重要だと思いますので、老人の力を活用していく施策を実施してほしいと思います。  
(女性 60代 多摩市)
- 超高齢化社会に向けて、働きたい意欲のある人への多様な就業機会の場の増設を強く望みたい。  
(男性 70歳以上 杉並区)
- 結婚が遅くなっている人が多いので出会えるチャンスを多く作ってあげる事が大事だと思います。  
(女性 70歳以上 西東京市)

### (3) 安全・安心な都市、治安対策に関すること 36件

- 都として、安全対策の強化に取り組んでいただきたいです。都民の安全確保目的に限らず、ビジネスや観光産業の振興に向けても重要だと考えます。東京は「比較的経済が安定している」、「街がクリーンで治安が良い」といった印象を世界から一般的に持たれている理解です。一方、地震や洪水等の自然災害に対する安全対策は万全とは言えず、外国人にとっても不安要素となっていると考えます。自然災害を未然に防ぐことは難しいですが、これまでの他の地域での事例を基に、災害発生時に被害が拡大しないよう、社会が混乱しないよう、現在の都の取組を拡充していただきたいです。  
(女性 20代 世田谷区)
- 災害に強いまちづくりのために、無電柱化を都内全域で行なってほしいです。  
(女性 30代 武蔵野市)
- 最重要課題は防災だと考えます。防災を意識した街づくりはもとより、民間と連携する体制づくりも必要です。民間企業や業界団体と協力関係を結んでおく、登録型(定期的な研修あり)の市民ボランティア制度など。既に取り組まれているかと思いますが、より具体的に促進されることを望みます。  
(女性 40代 新宿区)

### (4) 一極集中、地方・地域との連携に関すること 36件

- 全てが集まる首都ではなく、全国の問題に応じて連携を取り、最適な配分ができる東京になってほしい。都民として、豊かな東京都の恩恵を受けているが、地域間格差の現状を目の当たりにして、日本の首都として日本全体に気を配る東京都になったら、一層好ましいように思われた。  
(女性 20代 大田区)
- 良くも悪くも、東京に多くの人が日夜問わず集まっている。人が多く集まることによって、環境問題や交通のインフラ等、改善策に考えが集まりがちだと思うが、人が多く集まることをプラスに考え、何事においても東京から新たな取組を発信していく、前進し続ける東京であってほしい。  
(男性 20代 練馬区)

○ 一極集中による通勤・帰宅時の電車の混雑は、一刻も早く解決すべきだと思います。特に、オリンピック開催時期において、朝の通勤ラッシュがこのまま続くとすれば、おもてなしどころではなく、世界からひんしゆくを買うのではないのでしょうか。テレワーク、時差通勤等の企業等の協力も必要になると思いますが、例えば、観光客優先車両の設置も検討してはどうでしょうか。  
(男性 50代 杉並区)

○ このままでは東京の一極集中がますます進み、住みにくく災害の発生時に脆弱な都市になってしまう事が危惧される。近隣都市と提携しての企業の誘致など人口シフトに有効な各種の手段を講じる。災害に強い東京にすべく対策を強化する。あわせて東京は勿論のこと近隣都市と東京及び近隣都市間の交通インフラを整備する。

(男性 70歳以上 西東京市)

## (5) 社会の多様化等に関すること 33件

○ 障害を持つ人や外国出身の人など、多様な人々が共生する東京都になることを望みます。  
(男性 30代 渋谷区)

○ 東京オリンピックというスポーツの祭典が、また再び東京で開催されるというチャンスを東京に住む人々は考えなければならないと思う。なぜチャンスなのかと言えば、オリンピックは世界中の人が注目をし、スポーツを通して世界平和を願うものであるから、東京が国籍や民族、ジェンダーに対して多様性を認め、持続可能な環境作りをしなくてはならないという意識改革ができるからである。世界をリードするような都市、東京を目指していく必要があると思う。  
(女性 30代 練馬区)

○ 東京2020大会に向けて、障がい者スポーツで様々な当事者参加の教室が実施されています。ボランティアとして、地域の様々な方に参加していただき、障害者理解が大きく進んでいる感じがします。障がい者の方も、スポーツを楽しみながら取り組んでいます。これは、今までになかった事です。東京の人作りのためにも、継続が必要で、オリンピックが終わっても、東京都として取組を続けてほしいです。技術革新は、必要な事です、その根底にあるのは人としての相互理解だと思います。  
(女性 50代 あきる野市)

## (6) 街づくり、交通対策等に関すること 31件

○ 2019年に開催されるラグビーワールドカップや、東京2020大会など大きなイベントに向けて、一番懸念すべきと思うことは、やはり人の移動や働き方に及ぼす影響だと考えます。今現在でも都市部の交通網はダメージを受けやすい状況にあると思いますが、今年や来年の時期には世界規模で人やモノが一極集中することは想像に難くないですし、それに対して個人やそれぞれの会社等で個々に対応していくには難しい部分もあると思います。東京都がいち早く働き方に対する呼びかけや交通の管理、ルールを積極的に実施していくことが都全体の連携を強化していく上でも重要だと考えます。

(女性 20代 江東区)

○ ラッシュアワー時の通勤電車の混雑はひどい状況かと考えております。テレワークの推進や通勤時間のシフト化などの取組によって、この混雑の解消はできないものでしょうか。都で実施された時差 Biz などの取組は承知しておりますが、社会的な浸透度はイマイチな状況であると認識しており、この問題については抜本的な制度改革が望まれます。

(男性 40代 練馬区)

○ 古いものと新しいものが混在しているのが魅力だと思うので、歴史ある建物や文化に対して、より一層の支援をしていかないと、歴史あるものがなくなってしまうと思う。

(女性 50代 江戸川区)

## (7) 環境、地球温暖化対策に関すること 29件

○ 低炭素化に向けた取組が必要だと考える。パリ協定で二酸化炭素排出ゼロが目標として掲げられたように、世界的に低炭素化への関心が高まっている。そして、日本の低炭素化の技術は世界的にも高く評価されている。世界からの関心と日本の持つ技術、まさに需要と供給が一致していると言える。東京は早期に低炭素化の具体的な技術を確立し、世界に向けて発信すべきであるし、発信できる可能性があると思う。低炭素化の高い技術については民間企業や研究者が有しているため、これらの企業や個人とタッグを組み、都と共同した長期プロジェクトとして推進するのが良いと思う。

(女性 20代 東村山市)

○ 暑さ対策は急務だと思います。地方に行った時の暑さと東京の暑さは全く質が違うもので、同じ気温が表示されていても東京の方が暑いです。子供を暑いから外で遊ばせられない、暑いからプールも中止というのは異常だと思います。コンクリートで熱がこもっている感じが分かるのでなんとか対策をしてほしいです。子供にとって私有地が狭いこともあり禁止事項も多いと思います。公園でもボール遊びはダメ、などもっとのびのび遊ばせてあげられる場所がほしいです。

(女性 30代 台東区)

○ 東京が日本の代表的な姿に止まらず、世界の理想の都市になるべく、プラスチックごみなどの環境問題やエネルギー問題等について速やかに取り組んでほしいと思います。また、それとともに、その必要性について、学校などでの教育、啓発を積極的に行うことがとても重要と感じています。

(男性 60代 葛飾区)

## (8) 先進的都市、国際化、経済発展等に関すること 16件

○ 日本がこれから国際競争力を維持していくためにも、国内外の人が東京でビジネスをしたいと思うような街づくりを推進していく。世界で最も生産性が高い首都を目指していく。

(男性 20代 墨田区)

○ 海外からの移住者や観光客がより多く訪れ、国際的な交流が発展する。また、それにより海外の技術・知識・文化を取り入れられる街。そのために、海外の方々が過ごしやすいインフラ整備や、都民の意識改善を行ってほしい。技術革新・情報発信の中心地として栄えていくために、産業発展企業への支援・補償をより充実させる。また、労働者賃金のベースアップを企業に働きかける。

(男性 30代 町田市)

○ 世界の主要都市に負けないように外国企業の誘致に取り組む。(女性 70歳以上 渋谷区)